

MF S・グローバル株式 ファンド

【愛称：歴史のチカラ】

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：MF S グロ株

2022年8月2日から2023年8月1日まで

第4期 決算日：2023年8月1日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは日本を含む世界の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

| | |
|------------|----------|
| 基準価額 (期末) | 16,070円 |
| 純資産総額 (期末) | 1,320百万円 |
| 騰落率 (当期) | +15.4% |
| 分配金合計 (当期) | 0円 |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 期首 | 13,931円 |
| 期末 | 16,070円 (既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | +15.4% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主に世界の取引所に上場している株式の中から、持続可能な利益成長が期待できる企業や成長性に比べて割安と判断した企業の株式などに分散投資を行いました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 欧米のインフレ鈍化を受けた主要中央銀行の金融引き締めサイクル終了への期待
- F R B (米連邦準備制度理事会) が米景気の急激な悪化を回避しつつインフレを抑制できるとの見方の台頭
- 主要通貨に対する円安の進行

下落要因

- 主要中央銀行の一段の利上げや金融引き締め政策の長期化による景気後退懸念
- 米地銀破綻を受けた金融システム不安
- 米債務上限問題による米国債の債務不履行懸念

1万口当たりの費用明細(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|---------------------------------------------------------|
| (a) 信託報酬 | 143円 | 0.990% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は14,405円です。 |
| (投 信 会 社) | (43) | (0.297) | 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 |
| (販 売 会 社) | (95) | (0.660) | 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (5) | (0.033) | 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | - | - | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (-) | (-) | 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (-) | (-) | 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (公 社 債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) その他費用 | 1 | 0.007 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (-) | (-) | 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.007) | 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) | そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合 計 | 144 | 0.997 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

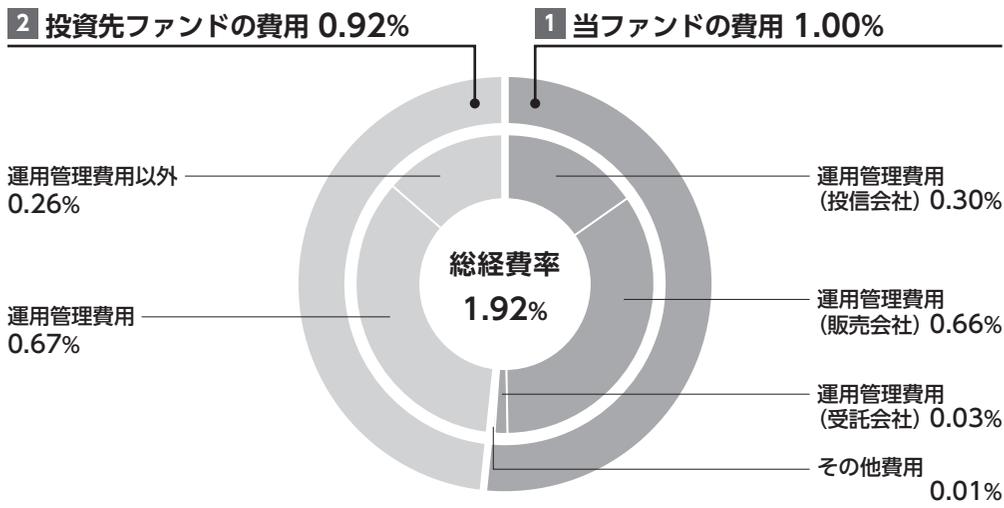
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



| 総経費率(1 + 2) | | 1.92% |
|-------------|---------------------|-------|
| 1 | 当ファンドの費用の比率 | 1.00% |
| 2 | 投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.67% |
| | 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.26% |

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

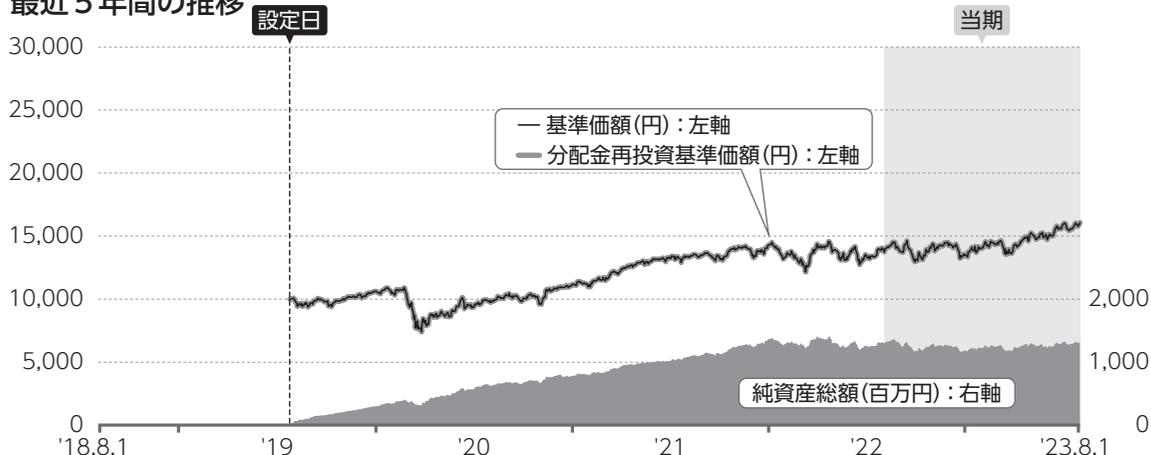
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.92%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年8月1日から2023年8月1日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2019年7月23日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



| | | 2019.7.23 設定日 | 2020.8.3 決算日 | 2021.8.2 決算日 | 2022.8.1 決算日 | 2023.8.1 決算日 |
|---------------|-------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 基準価額 | (円) | 10,000 | 9,809 | 13,394 | 13,931 | 16,070 |
| 期間分配金合計(税引前) | (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%) | — | -1.9 | 36.5 | 4.0 | 15.4 |
| 純資産総額 | (百万円) | 10 | 628 | 1,083 | 1,306 | 1,320 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。為替市場では、米ドルやユーロに対して円安となりました。

グローバル株式市場

期を通してみると、グローバル株式市場は、上昇しました。

期初は、欧米を中心としたインフレ加速に伴う主要中央銀行の一段の利上げが景気後退を招くことへの懸念から下落しました。その後、利上げペースの緩和期待や概ね良好な企業業績を材料に持ち直したものの、2023年3月前半までは、世界的に景気後退懸念が強まる中、主要中央銀行による利上げ長期化の可能性や米地銀破綻を受けた金融システム不安が重石となり、上値の重い動きとなりました。

3月後半には、企業業績への安心感や米利上げサイクル終了への期待感から騰勢を取り戻し、米債務上限問題による米国債の債務不履行懸念などが市場心理を悪化させる場面があったものの、5月まで底堅い推移を維持しました。

6月以降は、米利上げサイクル終了への期待感が強まる中、米FRBが米景気のハードランディング(急激な景気後退)を回避しつつインフレを抑制できるとの楽観的な見方が強まって上昇基調となり、期中の高値圏で期を終えました。

為替市場

為替市場では、米ドル・円相場は米ドル高・円安となりました。米国での金融引き締め長期化観測や日銀新総裁の植田氏のハト派(景気を重視する立場)的発言などから日米金融政策格差が意識されたことが背景です。

ユーロ・円相場もユーロ高・円安となりました。日銀が金融緩和政策を維持する中、ECB(欧州中央銀行)がタカ派(インフレ抑制を重視する立場)姿勢を続けたことなどが背景です。

ポートフォリオについて(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

当ファンド

期を通じて、「MF Sグローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)」の組入れを高位に保ちました。

MF Sグローバル株式ファンド (適格機関投資家専用)

運用の基本方針に基づき、日本を含む世界の株式の組入比率を高位に維持したことから、世界の株式市況や為替相場の変動の影響を大きく受けました。期を通じて基準価額は、株価が現地通貨ベースで上昇したことに加え、多くの通貨で円安となったことのプラスの影響が、信託報酬等によるマイナスの影響を上回り、期首比で上昇しました。

●業種配分

期末の組入上位セクターは、資本財・サービス、ヘルスケア、金融となりました。期首との比較では、資本財・サービス、素材などのウェイトが上昇した一方、生活必需品、ヘルスケアなどのウェイトが低下しました。

基準価額の変動に対しては、資本財・サービス、一般消費財・サービスをはじめ保有するすべてのセクターがプラス寄与となりました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年8月2日から2023年8月1日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第4期 |
|-----------|---------|
| 当期分配金 | 0 |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 6,069 |

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「MF Sグローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れて運用を行います。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

MF Sグローバル株式ファンド (適格機関投資家専用)

グローバル株式市場は、インフレ鈍化の兆候を受け、多くの中央銀行が金融引き締めサイクルの終盤にあるとの見方が強まる一方で、景気や企業業績は予想以上に底堅く推移していることから、景気後退を回避できるとの期待が高まって堅調な推移となっています。ただし、経験則では昨年来の金融引き締めは景

気後退を招くのに十分な規模になっていることに留意すべきと考えます。足元の株価に割高感はなく、長期的には堅調な推移を予想しています。

当ファンドでは、引き続き、中長期的な視点から、本業に強みを持ち、市場平均以上の収益/キャッシュフローの成長が継続的に期待され、かつ株価も割安に放置されているクオリティの高い企業群への投資を継続します。短期的で不安定な市場の動向に過剰反応することなく、長期的視野に基づいた投資行動を行って参ります。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

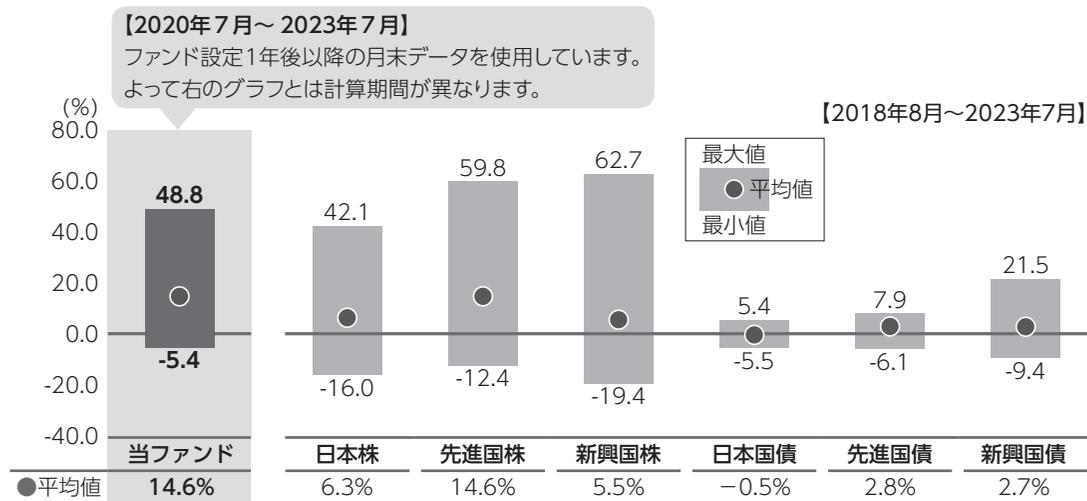
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 2019年7月23日から2029年8月1日まで |
| 運用方針 | 日本を含む世界の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 主要投資対象 | <p>MFSグローバル株式ファンド(適格機関投資家専用) 日本を含む世界の株式等</p> <p>マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品</p> |
| 当ファンドの運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■日本を含む世界の株式の中から、持続可能な利益成長が期待できる企業や成長性に比べて割安と判断した企業の株式に投資します。 ■実質的な運用は、長期運用の実績を持つマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー（MFS）が行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |
| 組入制限 | <ul style="list-style-type: none"> ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | <ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年8月1日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div> |

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本株 | TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。 |
| 新興国債 | JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

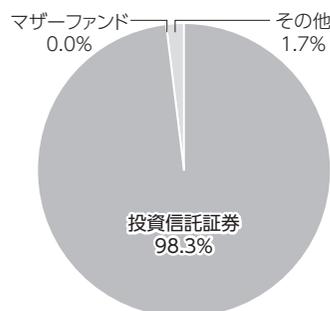
当ファンドの組入資産の内容 (2023年8月1日)

組入れファンド等

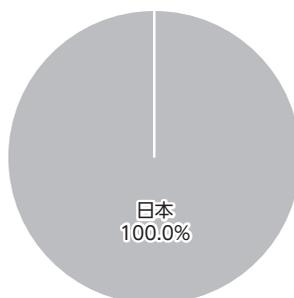
| 銘柄名 | 組入比率 |
|---------------------------|-------|
| MFSグローバル株式ファンド(適格機関投資家専用) | 98.3% |
| マネー・トラスト・マザーファンド | 0.0% |
| コールローン等、その他 | 1.7% |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

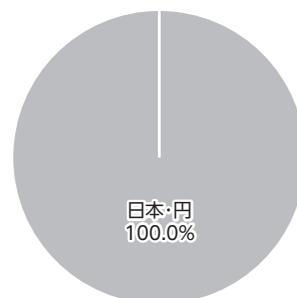
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

| 項目 | | 第4期末 2023年8月1日 |
|------------|-----|-------------------|
| 純資産総額 | (円) | 1,320,341,503 |
| 受益権総口数 | (口) | 821,641,107 |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 16,070 |

※当期における、追加設定元本額は43,216,008円、解約元本額は159,507,465円です。

組入上位ファンドの概要

MF Sグローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)(2022年7月23日から2023年7月24日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

| 項目 | (内訳) | 金額 | (内訳) |
|---------|----------------------------|-----|--------------------|
| 信託報酬 | (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 103 | (99) (0) (3) |
| 売買委託手数料 | (株式) | 1 | (1) |
| その他費用 | (保管費用) (監査費用) (その他) | 39 | (35) (4) (0) |
| 合計 | | 143 | |

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

組入上位銘柄

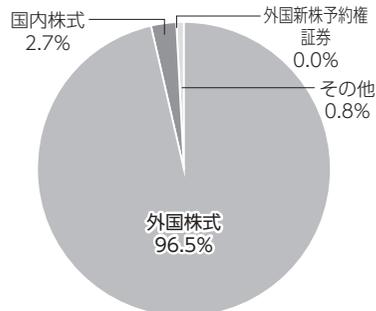
(基準日：2023年7月24日)

| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 組入比率 |
|--------------------------------|---------------|--------|-------|------|
| 1 VISA INC-CLASS A SHARES | 金融サービス | アメリカドル | アメリカ | 3.0% |
| 2 SCHNEIDER ELECTRIC SE | 資本財 | ユーロ | フランス | 2.9% |
| 3 LINDE PLC | 素材 | アメリカドル | アメリカ | 2.7% |
| 4 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC | 調剤/製薬/バイオ/医薬品 | アメリカドル | アメリカ | 2.6% |
| 5 MEDTRONIC PLC | ヘルスケア機器・サービス | アメリカドル | アメリカ | 2.6% |
| 6 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI | 耐久消費財・アパレル | ユーロ | フランス | 2.5% |
| 7 COMCAST CORP-CLASS A | メディア・娯楽 | アメリカドル | アメリカ | 2.5% |
| 8 ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN | 調剤/製薬/バイオ/医薬品 | スイスフラン | スイス | 2.5% |
| 9 ACCENTURE PLC-CL A | ソフトウェア・サービス | アメリカドル | アメリカ | 2.3% |
| 10 HONEYWELL INTERNATIONAL INC | 資本財 | アメリカドル | アメリカ | 2.2% |
| 全銘柄数 | | 85銘柄 | | |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

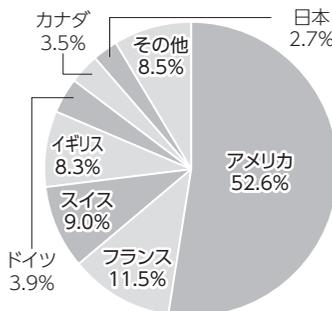
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比)



※基準日は2023年7月24日現在です。

国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)

